

## お詫びと訂正

2024年7月発行の書籍「患者さんにご家族のためのCKD療養ガイド2024」第1刷、第2刷、第3刷に、以下の誤りがございました。誠に申しわけございませんでした。お詫びして訂正いたします。第4刷では、修正されます。

---

・ 67ページ 14～18行目

### 【誤】

さまざまな骨粗鬆症のおくすり（活性型ビタミンD製剤やビスホスホネート製剤など）がありますが、ステージの進んだCKD患者さん（とくにeGFRが30 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>以下に低下した場合）に対する効果や安全性は明らかではなく、最適な治療法はまだわかっていません。

### 【正】

さまざまな骨粗鬆症のおくすり（活性型ビタミンD製剤やビスホスホネート製剤など）がありますが、ステージの進んだCKD患者さん（とくにeGFRが30 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満に低下した場合）に対する効果や安全性は明らかではなく、最適な治療法はまだわかっていません。

以上